

平成 31 年 2 月

検体検査実施料新規収載のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、このたび平成 31 年 1 月 31 日付け厚生労働省保険局医療課長通知「保医発 0131 第 4 号」にて、下記項目の検体検査実施料が平成 31 年 2 月 1 日より新規適用されることとなりました。
取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

(記)

■ 実施料が新規収載された項目

点数 区分	検査項目名	検査方法	実施料	判断区分 判断料	備考
D006ー7 UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型					
	Nudix hydrolase 15(NUDT15) 遺伝子多型検査	リアルタイム PCR 法	2100	血液 125	※

- ※ ア Nudix hydrolase 15(NUDT15) 遺伝子多型検査は、区分番号「D006ー7」UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型の所定点数に準じて算定する。
- イ 本検査は、難治性の炎症性腸疾患、急性リンパ性白血病等の患者であって、チオプリン製剤の投与対象となる患者に対して、その投与の可否、投与量等を判断することを目的として、リアルタイム PCR 法により測定を行った場合、当該薬剤の投与を開始するまでの間に 1 回を限度として算定できる。

以上